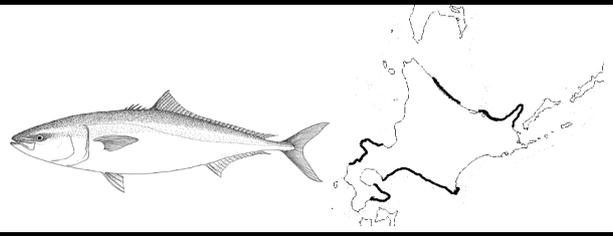


42.ブリ

主な漁業と漁期

定置網、底建網、
小型定置網：1～12月



北海道周辺海域

生態

◆分布・回遊

東シナ海で孵化し、稚魚は流れ藻に付随して漂流した後、成長しながら産卵場から日本海と太平洋を北上します。未成魚や成魚は東シナ海から北海道まで広く分布します。北海道においては5～6月頃に道南海域に來遊し、7～8月頃に道央日本海や以西太平洋に、9～10月頃にオホーツク海や根室海峡に來遊します。北海道周辺の水温が低下し始める9月頃から成魚は産卵のため、南下回遊します。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期：太平洋では1～5月頃、日本海では1～7月頃です。
- ◎産卵場：東シナ海～能登半島周辺以西（日本海）、東シナ海～伊豆諸島以西（太平洋）です。

◆成長・成熟

	尾叉長(cm)	体重(g)
0歳	35.8	700
1歳	51.4	2,049
2歳	62.6	3,142
3歳	74.6	5,947
4歳	75.7	6,438

- *) 星野・藤岡(2021)より
- *) 2016年9～10月の測定結果に基づく
- *) 加齢の基準日：1月1日

◎成熟年齢・体長

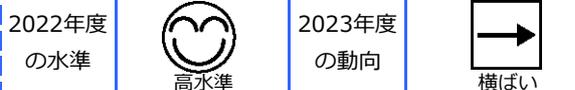
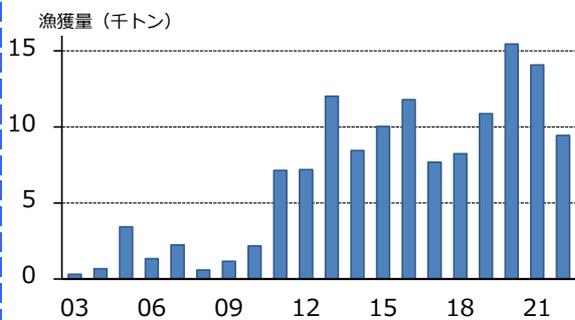
ブリは2歳前後で生殖腺が急速に発達することが報告されています。また、アーカイバルタグによる調査から、日本海から東シナ海へ大規模な産卵回遊を行うのは3歳の一部と4歳以上のブリと考えられています。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[来遊量の指標] 漁獲量

北海道周辺のブリは2011年以降は高い来遊水準を維持しており、2020年には過去最高の15,457トンとなりました。2022年度は9,446トンと前年度からは減少しましたが、高い来遊水準を維持しているため高水準と判断されました。全国の資源動向は減少傾向にあります。現在の水準から大きく変化するとは考えられないため、来遊動向は横ばいと判断されました。近年の来遊量の増加は、北海道周辺の水温の上昇や資源の北偏が影響していると考えられています。

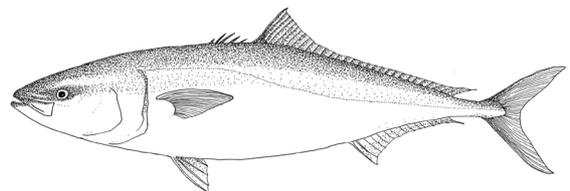


※都道府県も参加した国の資源評価結果を参考に北海道周辺海域の資源状況を評価しています

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

本種における資源管理に関する取り組みは特に行われていません。



☆広域回遊魚種のため、資源管理には国・他県との連携が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 釧路水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0154-23-6222